

■ “検討案A3” の優先事項と評価

平面構成・使い易さを重視し、ホール客席以外の諸室をすべて1階に配置（各案共通）

- ・ホールを中心とした回遊性のある動線
- ・動線上に、外部に面する交流スペースと諸室を配置
- ・街を巡るように雁行した通路(ミチ)を気軽に散歩
- ・こども施設を部分的に開放することで、他世代との交流が期待できる
- ・共用部への自然採光は交流スペースからのみとなる
- ・可動間仕切りを開放することで、多目的ホール・ホワイエ・屋外を一体的に利用することが可能
- ・ホールとこども施設が近接するため、ホールの防音に難がある
- ・建物全体がコンパクトにまとまっており経済的
- ・ホールの有料公演時、もぎりのエリア分けに難がある

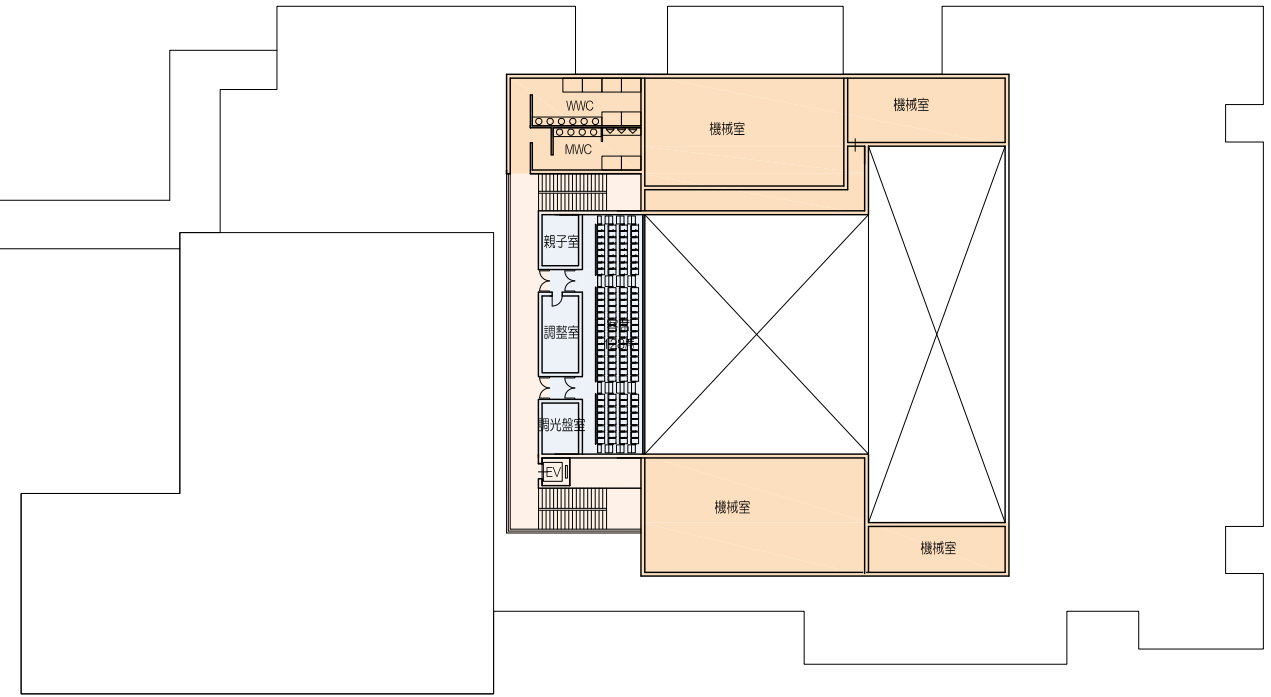
採光

開放性

防音

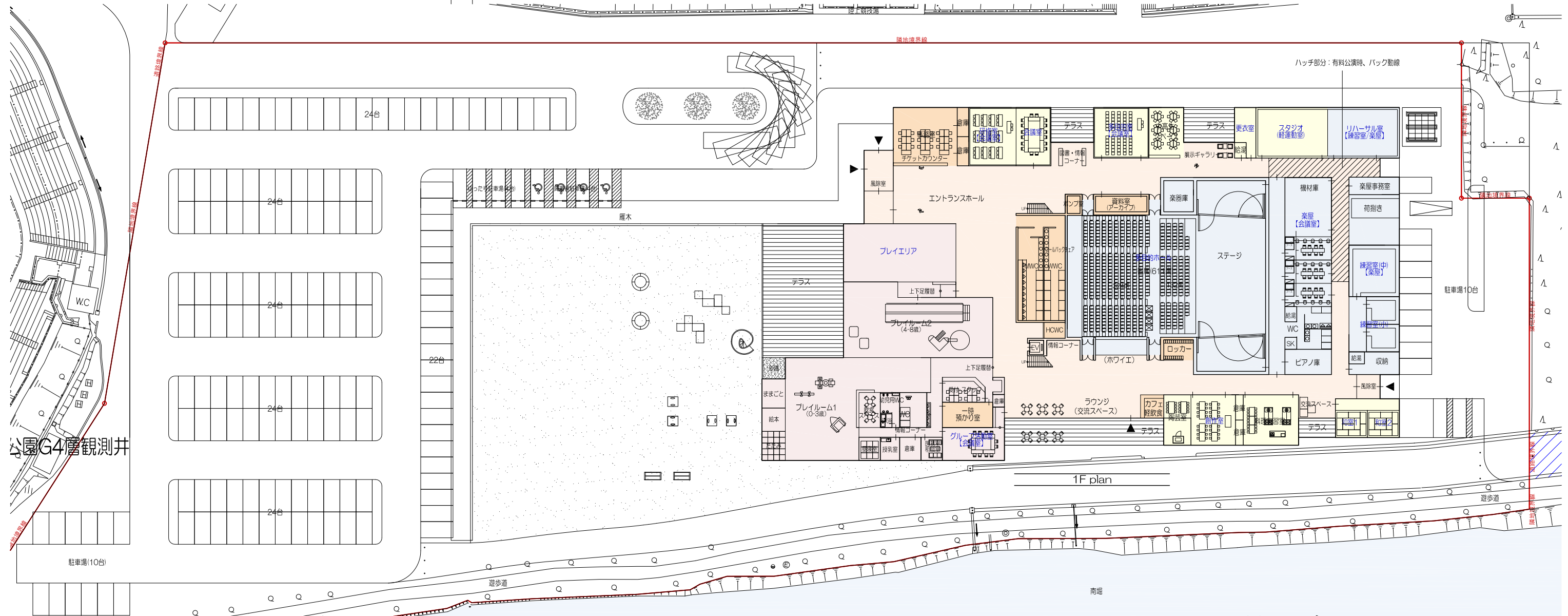
経済性

その他



2F plan

- 青色の室名：重ね使い
- ホール
 - 公民館
 - こども
 - 共用部



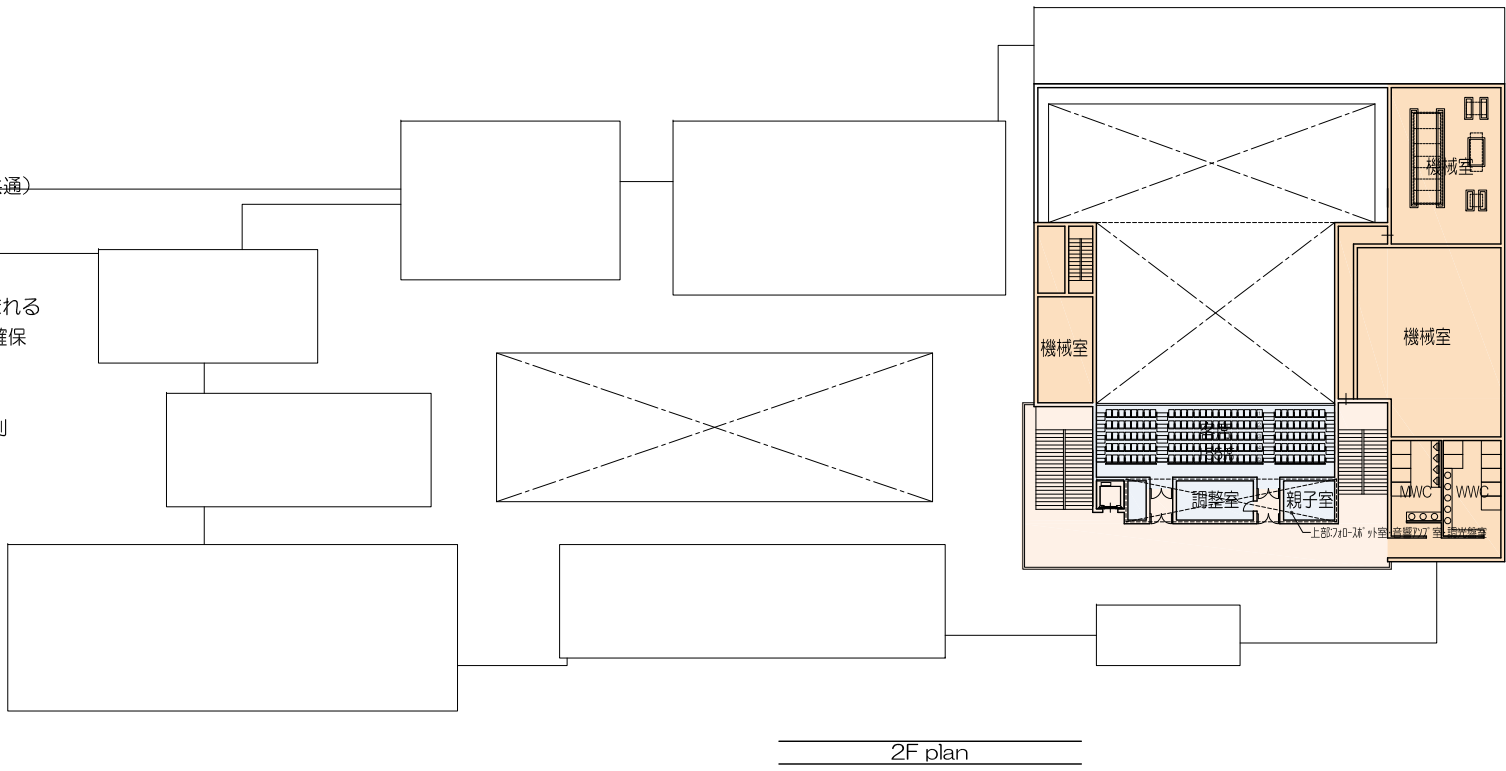
1F plan

公園G4層観測井

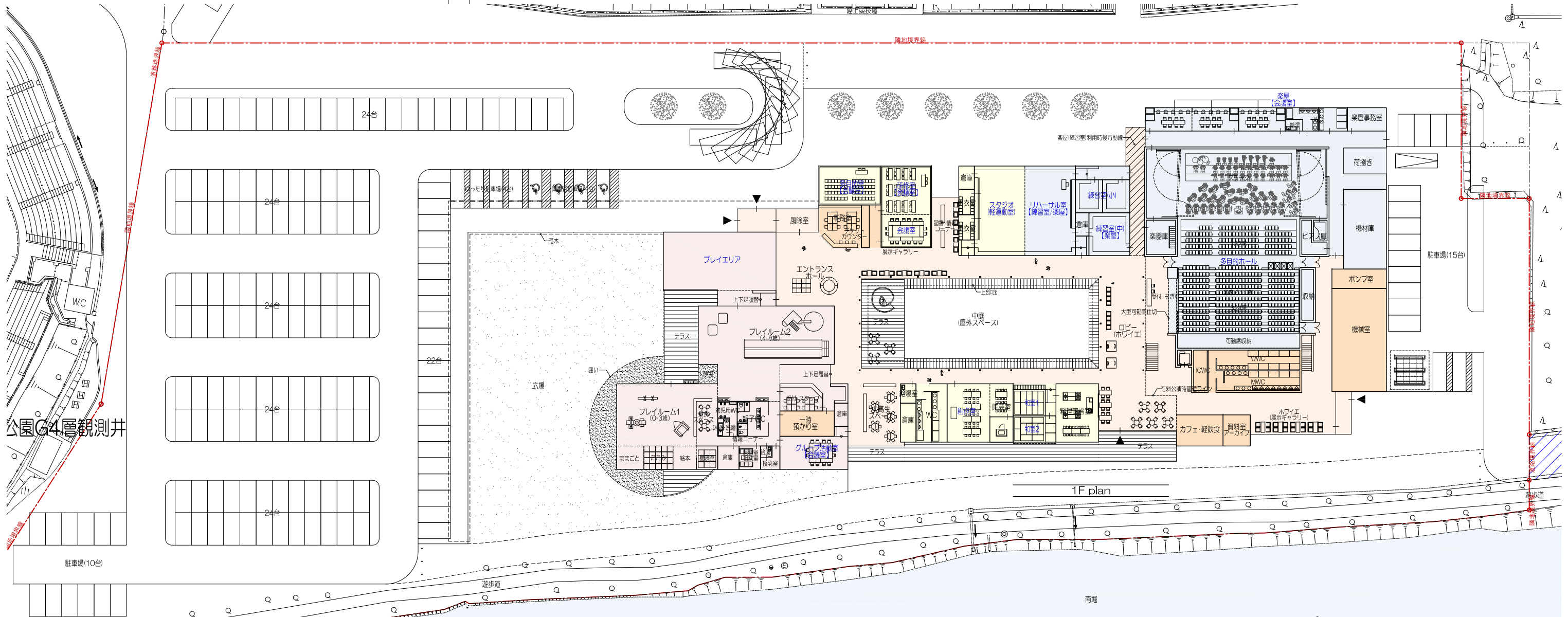
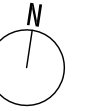
■ “検討案C3” の優先事項と評価

平面構成・使い易さを重視し、ホール客席以外の諸室をすべて1階に配置（各案共通）

- 中庭を中心とした回遊性のある動線
- 諸室群を、中庭を巡る共用部・通路の周りに沿って配置
- 諸室群どうしの間に外部に面する交流スペースなどを設置
- 中庭に沿った通路(ミチ)を気軽に巡ることで偶然的な出会いや発見が生まれる
- 中庭や交流スペースからの自然採光により、共用部は十分な明るさを確保
- ホールとロビー、ロビーと中庭の可動間仕切を開放することで、一体的な利用が可能
- ホールとこども施設を離れて配置することができ、ホールの防音に有利
- 諸室群などを木造とすることが可能
- 中庭の雪対策として、消雪設備が必要
- 中庭によって、外壁面の長さが長くなる
- 中庭はこども施設の屋外スペースとしても利用
- 2階客席へのアプローチからは堀や妙高山への眺望が楽しめる



- 青色の室名：重ね使い
- ホール
 - 公民館
 - こども
 - 共用部



公園G4層観測井